

メキシコ金融政策（2024年3月）

慎重な利下げ開始

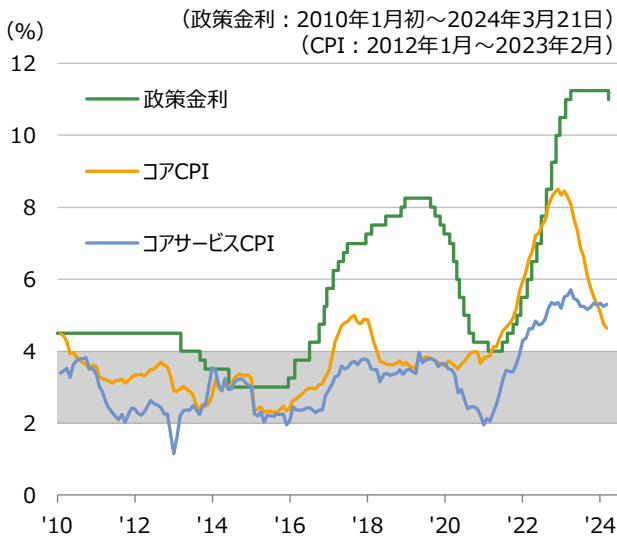
2024年3月22日

0.25%ポイントずつの利下げ継続をベースに柔軟な対応が取られよう

メキシコ銀行（中央銀行）は3月21日（現地）に金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を11.25%から11.00%に引き下げることを決定しました。同行は前回会合の声明文で「政策金利はしばらくの間、現水準に維持されなければならない」との文言を「次回会合で政策金利の調整の可能性を評価する」に変更し、今会合での利下げ開始を示唆していたため、今回の決定にサプライズはありません。

声明文では、足元のインフレ鈍化に加え、中長期のインフレ期待低下、パンデミックやウクライナ紛争で発生した供給不足の緩和など、利下げの根拠を列挙しています。一方、「金融政策の慎重な運営の継続が必要とされる課題やリスクが存在する」とも記しており、今回の決定や今後の方針に関する慎重さがうかがえます。確かにインフレ率は顕著に鈍化しましたが、堅調な景気や最低賃金の大幅な引き上げによってコアのサービス価格が高止まりしているほか、米国の利下げ経路など不透明要因も残っています。そうしたことから、今回の決定に際しては、政策委員5名のうちエスピノーサ副総裁が据え置きを主張したため、全会一致とはなりません。また、「次回会合における決定は今後のデータ次第」としており、利下げ継続は既定路線ではありません。当社を含め多くの市場参加者は0.25%ポイントずつの利下げが当面続くと予想していますが、例えば、米国の利下げが想定以上に遅く、両者の金利差縮小で通貨安が進行すれば、メキシコ中銀は利下げを停止するなど柔軟な対応を取るでしょう。

メキシコの政策金利とCPI（消費者物価指数）



※陰影部はメキシコ銀行によるインフレ目標のレンジ
※CPIは前年同月比 (出所) メキシコ銀行、ブルームバーグ

メキシコ・ペソ円とメキシコ国債指数



(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。